



# 操作マニュアル

## 目次

1	はじめに .....	1
1.1	本書の目的 .....	1
2	利用準備 .....	2
2.1	セットアップ .....	2
2.2	MANICA コレクタ起動 .....	3
3	デバイス設定 .....	4
3.1	タスクトレイアイコン .....	4
3.2	設定メニューの選択 .....	5
3.3	デバイスの追加 .....	6
3.3.1	デバイス選択 .....	6
3.3.2	各設定項目について .....	7
3.3.3	デバイス登録 .....	8
3.3.4	デバイスを有効にする .....	9
3.3.5	デバイスの Status について .....	10
3.4	デバイスの編集 .....	11

3.5	デバイスの削除 .....	12
3.6	開始と停止 .....	13
3.6.1	開始（デバイス接続） .....	13
3.6.2	起動時に自動で開始する .....	14
3.6.3	停止（デバイス切断） .....	15
3.7	ライセンス認証の手順 .....	16
3.7.1	ライセンスコードの取得 .....	16
3.7.2	ライセンスコードの登録 .....	17
4	接続中の動作 .....	18
4.1	サウンドを鳴らす .....	18
4.2	キーエミュレート .....	19
4.2.1	キーエミュレートの設定 .....	19
4.2.2	IC タグの読み取り .....	20
4.3	ファイル出力 .....	22
4.3.1	ファイル出力の設定 .....	22
4.3.2	IC タグの読み取り .....	23
4.4	高度な設定 .....	25
4.4.1	SQL 発行 .....	25

4.4.2	プロセス起動 .....	25
4.4.3	Web フック .....	26
5	テストモードを利用した動作テスト .....	26
6	MANICA コレクタ終了 .....	27
7	アンインストール手順 .....	28

# 1 はじめに

## 1.1 本書の目的

「MANICA コレクタ」は、使用中のソフトウェアや開発中のシステムに、IC タグリーダライタやバーコードリーダでの操作を簡単に組み込むことが出来るツールです。本書は、MANICA コレクタの操作方法について解説しています。

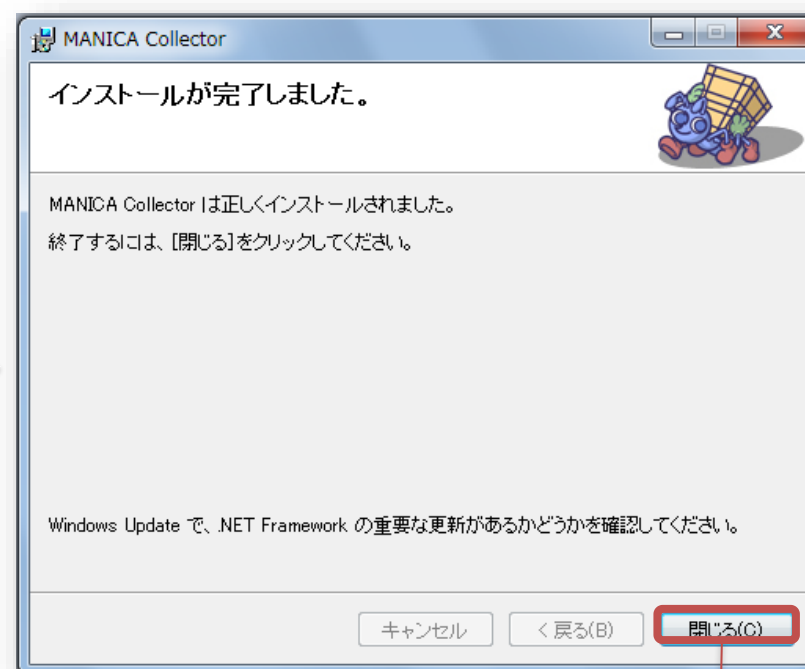
## 2 利用準備

### 2.1 セットアップ

Setup フォルダ内の Setup.exe をダブルクリックします。セットアップウィザードが起動したら「次へ」をクリックし進めます。  
「インストールが完了しました。」と表示されたら「閉じる」をクリックしてください。



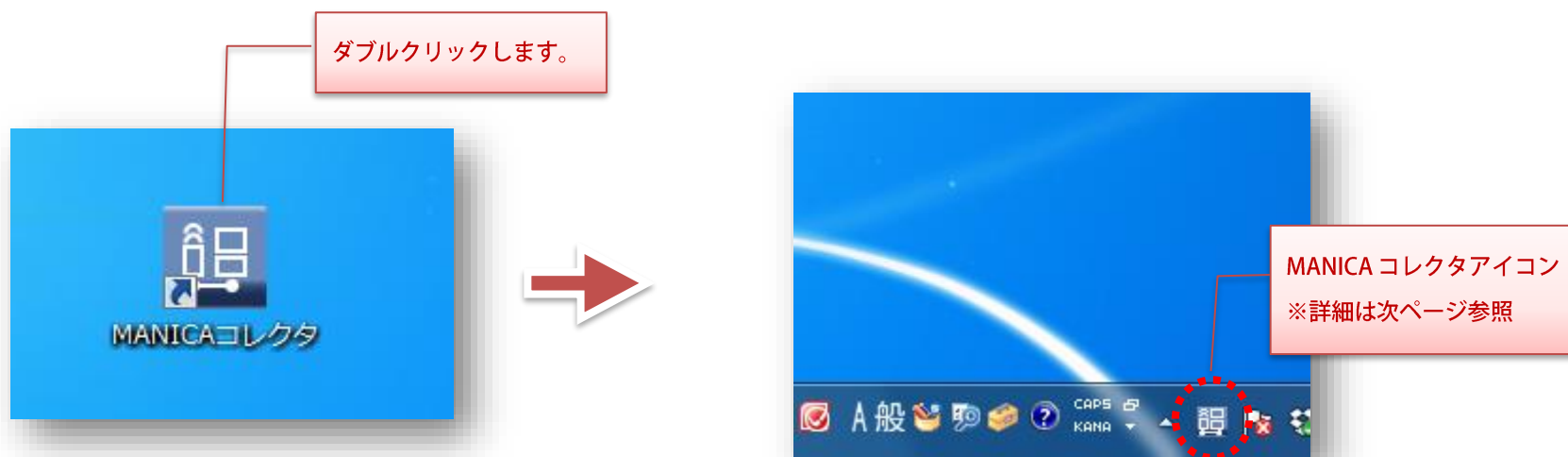
クリック



クリック

## 2.2 MANICA コレクタ起動

セットアップが終了すると、Windows デスクトップに MANICA コレクタアイコンが追加されます。ダブルクリックし、MANICA コレクタを起動します。起動してもデスクトップの画面上に変化はありませんので、何度もダブルクリックを行わないよう、ご注意ください。起動している場合には、Windows タスクトレイに MANICA コレクタアイコンが表示されます。(次ページを参照)



MANICA コレクタが既に動作している状態でデスクトップアイコンをダブルクリックすると「Collectorは動作を停止しました」とエラーが表示されます。エラーメッセージが消えた後、タスクトレイにアイコンがあるかどうか確認してください。

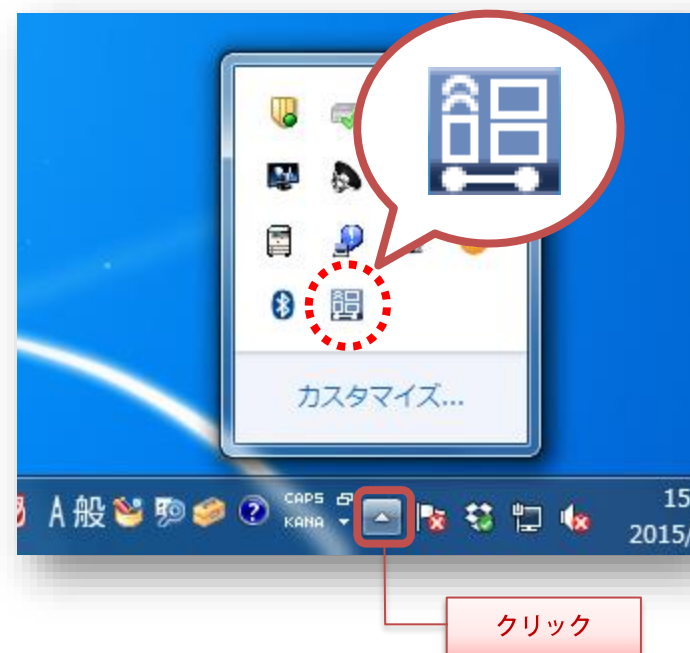
## 3 デバイス設定

### 3.1 タスクトレイアイコン

MANICA コレクタ起動中、Windows のタスクトレイに「MANICA コレクタ」アイコンが表示されます。または、タスクトレイにて▲をクリックすると、隠れているアイコンが表示され、その中に「MANICA コレクタ」アイコンがあります。アイコンを右クリックするとショートカットメニューが表示されます。(次ページ参照)

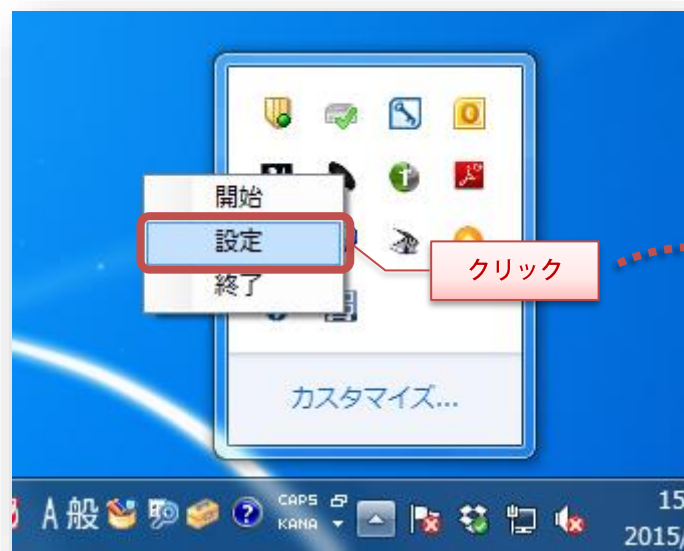


または

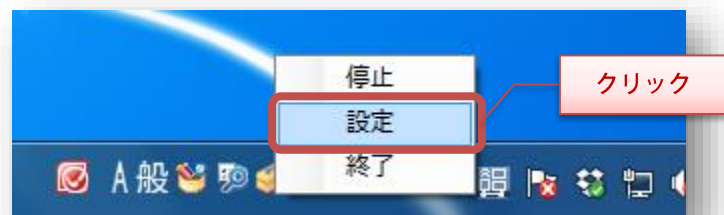


## 3.2 設定メニューの選択

「MANICA コレクタ」アイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「設定」を選択すると MANICA Collector ウィンドウが表示されます。このウィンドウにてデバイスの追加・設定・削除等を行います。詳細は次ページ以降を参照してください。



または



## 3.3 デバイスの追加

### 3.3.1 デバイス選択

MANICA Collector ウィンドウにて「追加」ボタンをクリックすると、「デバイス設定」ウィンドウが表示されます。ご使用になるデバイスを選択し、次ページを参照の上、各項目を設定します。デバイスの追加方法は P.8「デバイス登録」を参照してください。



デバイスが接続している状態では「追加」ボタンがクリックできません。「追加」ボタンがグレースアウトしている場合には、タスクトレイアイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「停止」をクリックしてください。(P.15 を参照)

### 3.3.2 各設定項目について

「デバイス設定」ウィンドウの各項目の説明は下記のとおりです。各項目を設定後、デバイスを有効にします（P.9 参照）。

項目	説明
デバイス	MANICA EXCEL TOOL (WiFi) 対応リーダを使用する場合、「MAINCA WiFi」を選択してください。MANICA EXCEL TOOL (WiFi) のご利用にあたっては、アプリのダウンロードが必要です。
接続方法	選択したリーダに対応した接続方法が表示されます。
COM ポート	COM ポート設定が必要な場合は選択可能になります。▼をクリックしドロップダウンリストより選択してください。
IP アドレス	IP アドレスが必要な場合に入力可能になります。
デバイス設定：出力	出力設定が可能なリーダの場合、選択可能になります。▼をクリックしドロップダウンリストより選択してください。
ポーリング間隔	ポーリング設定が可能なデバイスの場合、入力可能になります。
サウンドを鳴らす	チェックボックスをオンにすると、IC タグ読み取り時に PC からサウンドを鳴らします。 詳細は P.18 参照
キーエミュレート	チェックボックスをオンにすると、読み取った IC タグの ID をテキストデータとして入力します。詳細は P.19 参照
付加コード	▼をクリックしドロップダウンリストより選択できます。読み取った IC タグの ID の末尾に選択した付加コードが挿入されます。
ファイル出力	チェックボックスをオンにすると、読み取った IC タグの情報がファイル出力されます。 詳細は P.22 参照
出力ディレクトリ	「参照」ボタンをクリックし。出力ファイルの保存先を指定します。 詳細は P.22 参照
ファイル名	出力ファイルのファイル名を入力します。 詳細は P.22 参照
日毎に作成する	チェックを入れると出力ファイルが日毎に別ファイルで保存されます。 詳細は P.24 参照
高度な設定	SQL 発行、プロセス起動、Web フックの機能を利用する場合にこのボタンを押すと設定入力部分が表示されます。



MANICA EXCEL TOOL アプリは無料でダウンロードできます。

ご利用方法は、MANICA EXCEL TOOL の公式サイトを参照してください。

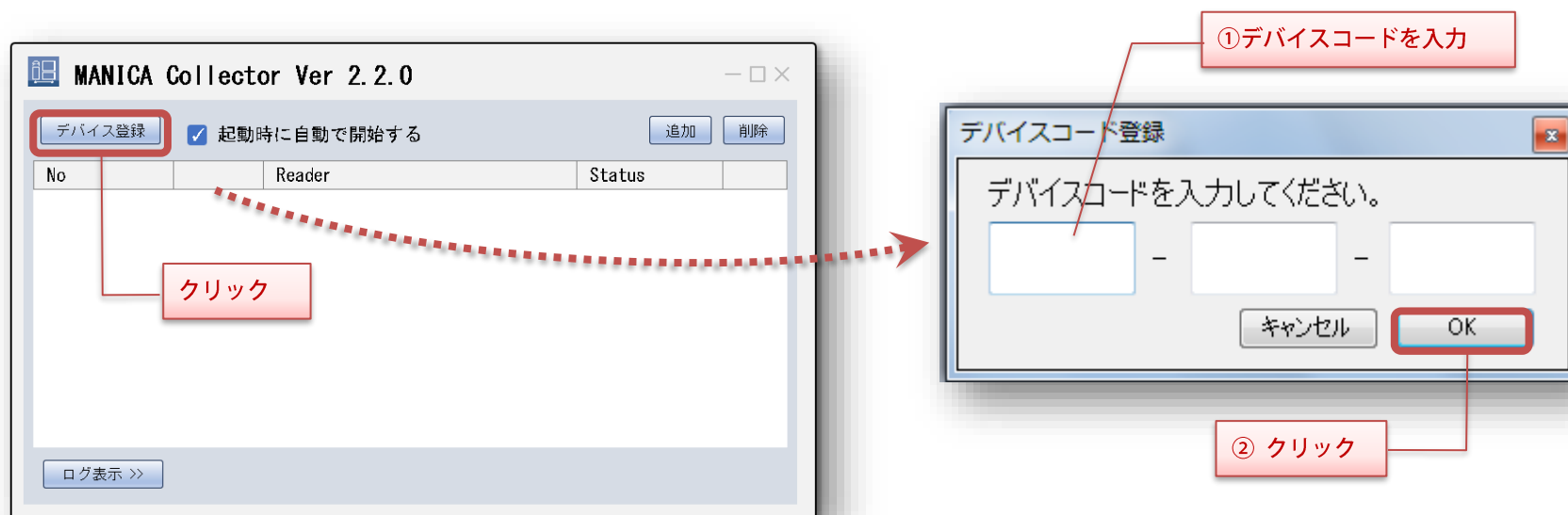
公式サイト: <https://www.hayato.info/manicatool.htm>



### 3.3.3 デバイス登録

各デバイスコードを入力することで、MANICA コレクタを 30 日間お試しください。体験期間終了後も継続して利用する場合は、ライセンスの購入が必要です。ライセンス認証の手順については P.16「ライセンス認証の手順」を参照してください。

MANICA Collector ウィンドウで「デバイス登録」ボタンをクリックし、ご使用のデバイスに対応したデバイスコードを入力してください。



MANICA コレクタでは、様々なデバイスが利用可能です。

対応デバイスの種類と各デバイスコードについては、MANICA コレクタの公式サイトを参照してください。

公式サイト: <https://www.hayato.info/collector.htm>



対応リーダー一覧

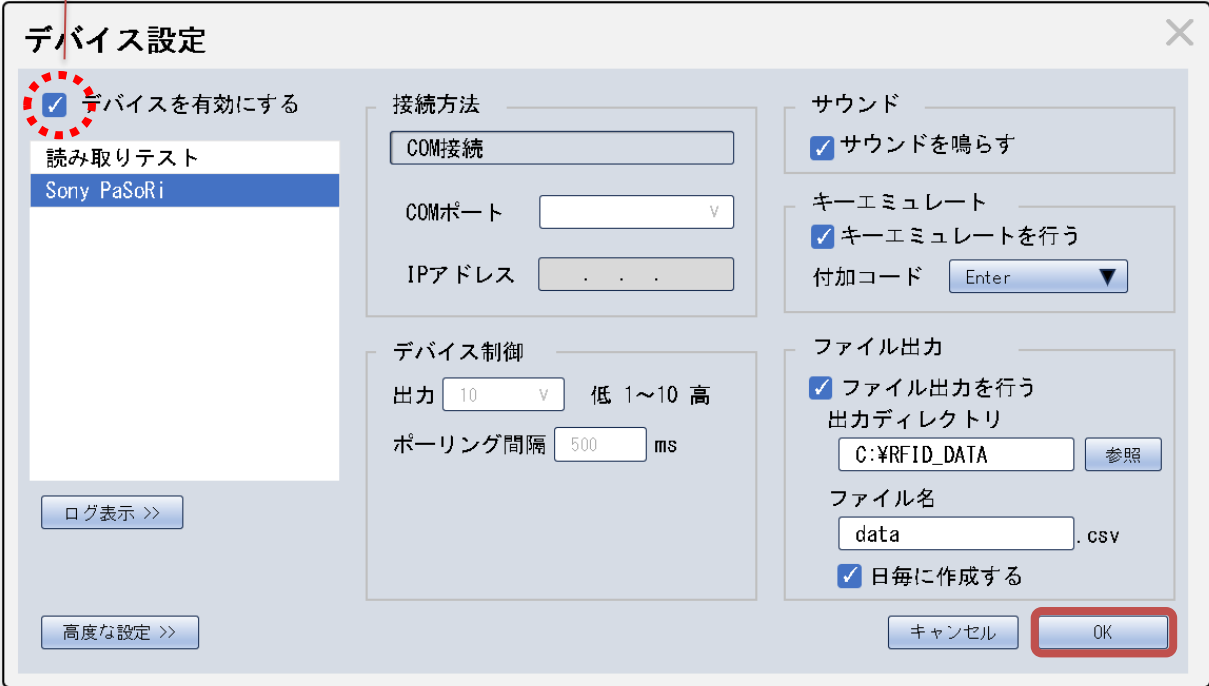


デバイスコード一覧

### 3.3.4 デバイスを有効にする

「デバイス設定」ウィンドウにて各項目を設定後、「デバイスを有効にする」チェックボックスをオンにして、「OK」をクリックしてください。MANICA Collector ウィンドウにデバイス名が追加され、Status が表示されます。（次ページ参照）

① チェックを入れます



デバイス設定

☒ デバイスを有効にする

読み取りテスト  
Sony PaSoRi

接続方法  
COM接続

COMポート

IPアドレス

サウンド  
☒ サウンドを鳴らす

キーエミュレート  
☒ キーエミュレートを行う  
付加コード

デバイス制御  
出力  低 1~10 高  
ポーリング間隔  ms

ファイル出力  
☒ ファイル出力を行う  
出力ディレクトリ  参照  
ファイル名  .csv  
☒ 日毎に作成する

ログ表示 >>

高度な設定 >>

キャンセル OK

② クリックします

### 3.3.5 デバイスの Status について

デバイスが有効に設定されていると、MANICA Collector ウィンドウの「Status」に“接続”または“切断”と表示されます。「Status」が“無効”となっている場合はデバイスが有効に設定されていません。(有効にする手順は P.9 参照)

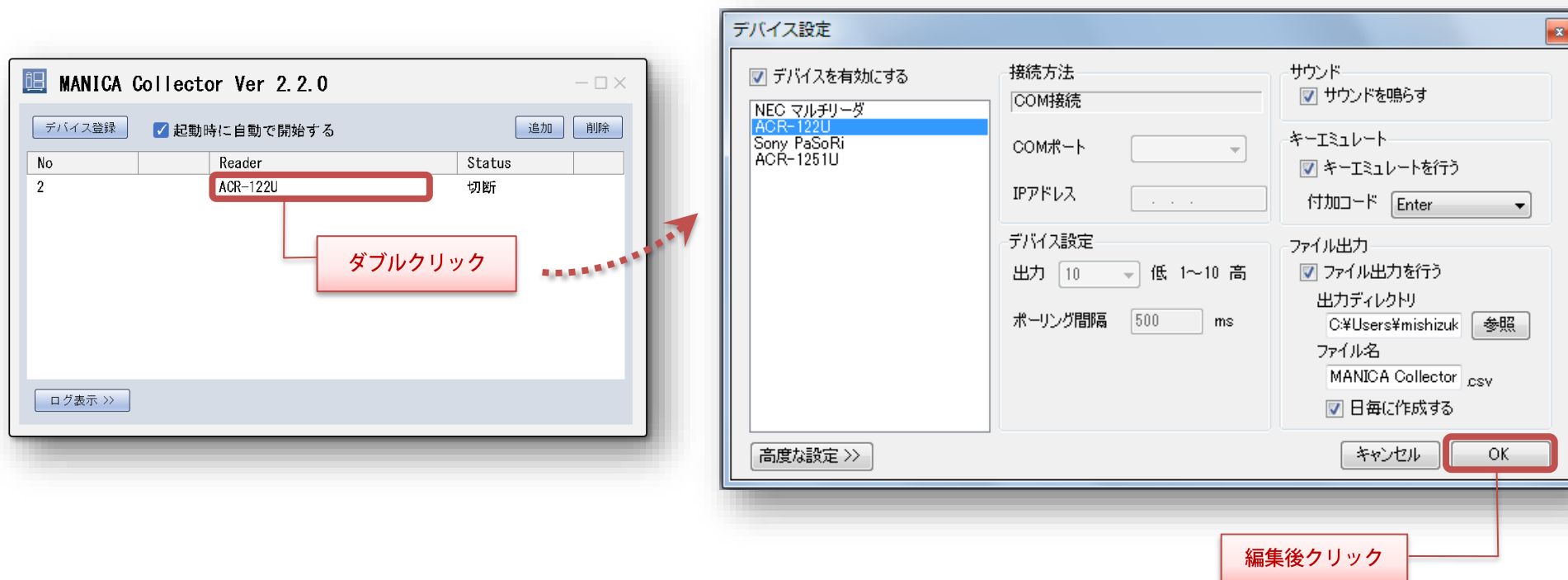
接続・切断の切替については P.13 の「開始と停止」を参照してください。

また、デバイス設定を編集したい場合は、次ページを参照してください。



### 3.4 デバイスの編集

デバイス設定の内容を編集したい場合には、MANICA Collector ウィンドウにて編集したいデバイスをダブルクリックします。「デバイス設定」ウィンドウが表示されますので、任意の箇所を編集後、「OK」をクリックしてください。



デバイスが接続している状態ではダブルクリックしても「デバイス設定」ウィンドウは表示されません。タスクトレイアイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「停止」をクリックしてからダブルクリックしてください。(P.15 を参照)

### 3.5 デバイスの削除

デバイスを削除する場合には、MANICA Collector ウィンドウにて削除したいデバイスを選択し「削除」をクリックします。  
確認メッセージにて「OK」をクリックするとデバイス設定が削除されます。



## 3.6 開始と停止

### 3.6.1 開始（デバイス接続）

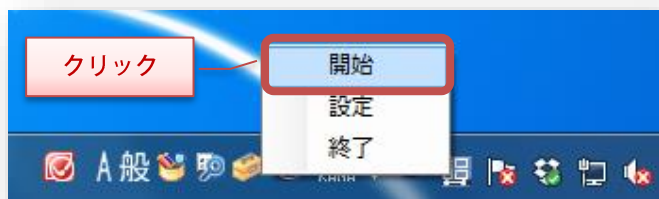
あらかじめデバイスをパソコンに接続します。

タスクトレイアイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「開始」をクリックすると、デバイスが接続中の状態になります。

この状態でリーダーからの読み取りを行います。接続中の動作の詳細については、P.18「接続中の動作」を参照してください。



または



※ ショートカットメニューより「開始」をクリックしても、上記の MANICA Collector ウィンドウが自動的に表示される訳ではありません。このウィンドウを表示させ Statusを確認したい場合には、タスクトレイアイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「設定」をクリックしてください。

### 3.6.2 起動時に自動で開始する

MANICA Collector ウィンドウにて「起動時に自動で開始する」のチェックボックスをオンに設定しておく、MANICA コレクタ起動時に自動的にデバイス接続が開始されます。この設定をしている場合には、前述の P.13 「開始（デバイス接続）」の設定を行わず、起動後すぐに IC タグの読み取りが行えます。

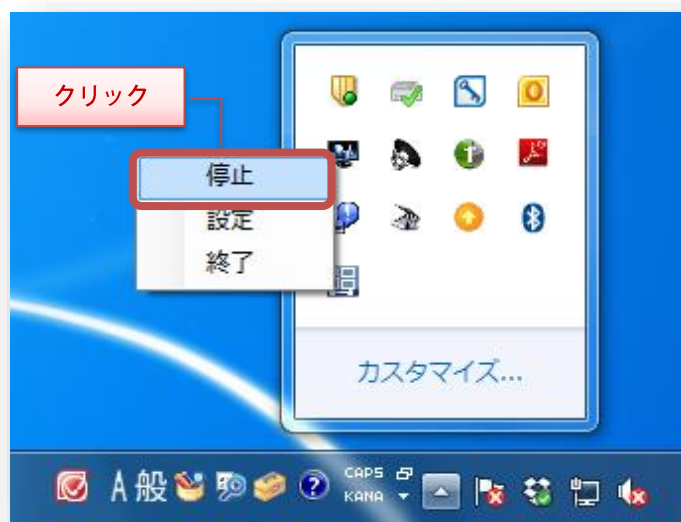
なお、起動については P.3 「MANICA コレクタ起動」を参照してください。



### 3.6.3 停止（デバイス切断）

タスクトレイアイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「停止」をクリックすると、デバイスが切断され、リーダーからの読み取りを停止します。

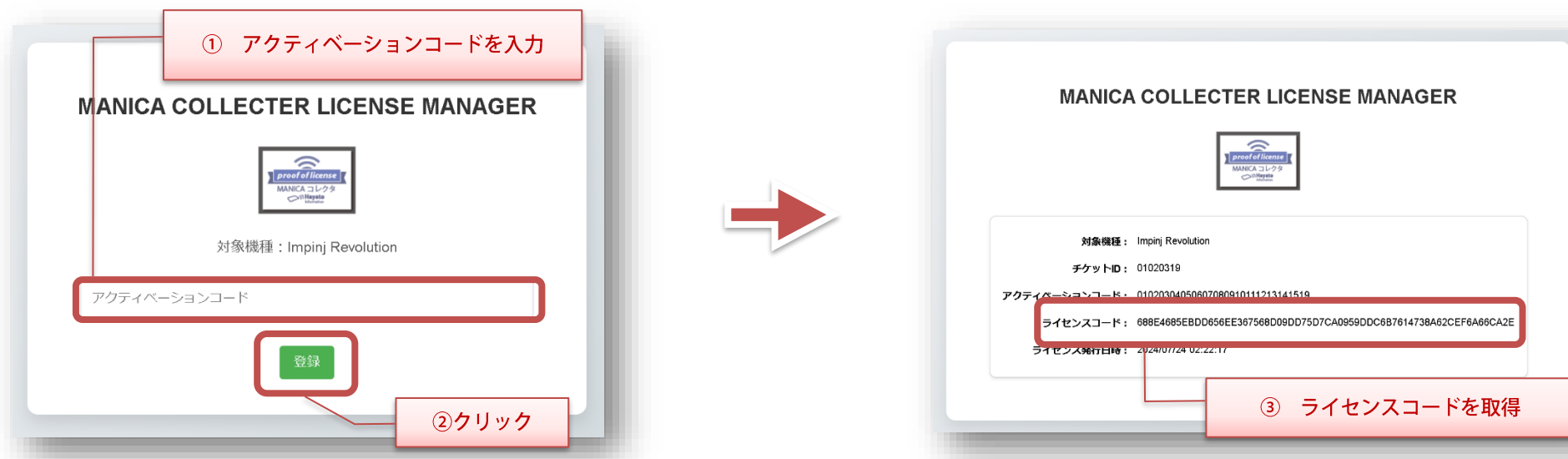
デバイスの追加や編集を行う場合には、この状態にて行ってください。



## 3.7 ライセンス認証の手順

### 3.7.1 ライセンスコードの取得

MANICA コレクタを正式に利用するにはライセンス認証が必要です。対応するリーダのライセンスを購入し、購入後にメールで送られる URL から登録サイトへアクセスしライセンスコードを取得してください。ライセンスコード発行の際に必要なアクティベーションコードは MANICA コレクタの設定画面を確認（次ページ参照）してください。



The diagram illustrates the license activation process in two stages, separated by a large red arrow pointing right.

**Stage 1 (Left):** The screen is titled "MANICA COLLECTOR LICENSE MANAGER". It features a "proof of license" logo and the text "対象機種 : Impinj Revolution". Below this is a text input field labeled "アクティベーションコード" (Activation Code). A green button labeled "登録" (Register) is at the bottom. A red box labeled "① アクティベーションコードを入力" (1. Enter activation code) points to the input field, and another red box labeled "② クリック" (2. Click) points to the "登録" button.

**Stage 2 (Right):** The screen is also titled "MANICA COLLECTOR LICENSE MANAGER". It displays the following information: "対象機種 : Impinj Revolution", "チケットID : 01020319", "アクティベーションコード : 01020304050607080910111213141519", and a red box containing the "ライセンスコード : 688E4685EBDD656EE367568D09DD75D7CA0959DDC6B7614738A62CEF6A68CA2E". Below the license code is the text "ライセンス発行日時 : 2024/07/24 02:22:17". A red box labeled "③ ライセンスコードを取得" (3. Obtain license code) points to the license code box.



ライセンスの購入については、MANICA コレクタ公式サイト内の各リーダから、該当するライセンスの販売ページへ直接遷移できます。詳細は公式サイトをご参照ください。

公式サイト: [https://www.hayato.info/col\\_reda.htm](https://www.hayato.info/col_reda.htm)



### 3.7.2 ライセンスコードの登録

発行されたライセンスコードを MANICA コレクタに入力します。



初回の 30 日間は体験期間として、ライセンスなしでご利用いただけます。

体験期間終了後も引き続きご利用いただくためには、ライセンスの登録が必要となります。

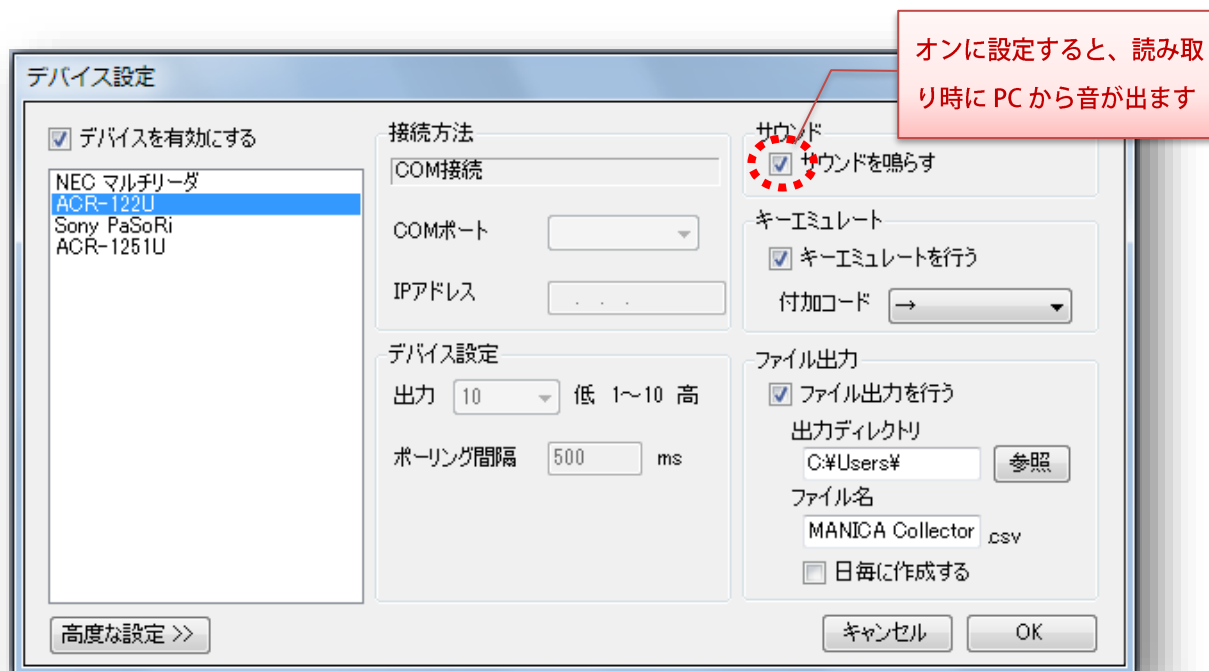
## 4 接続中の動作

### 4.1 サウンドを鳴らす

「デバイス設定」ウィンドウにて「サウンドを鳴らす」をオンにすると、リーダーでICタグを読み取った際にPC側より音が鳴ります。

デバイス設定と接続については、それぞれ前述のP.7「各設定項目について」、P.13「開始（デバイス接続）」を参照してください。

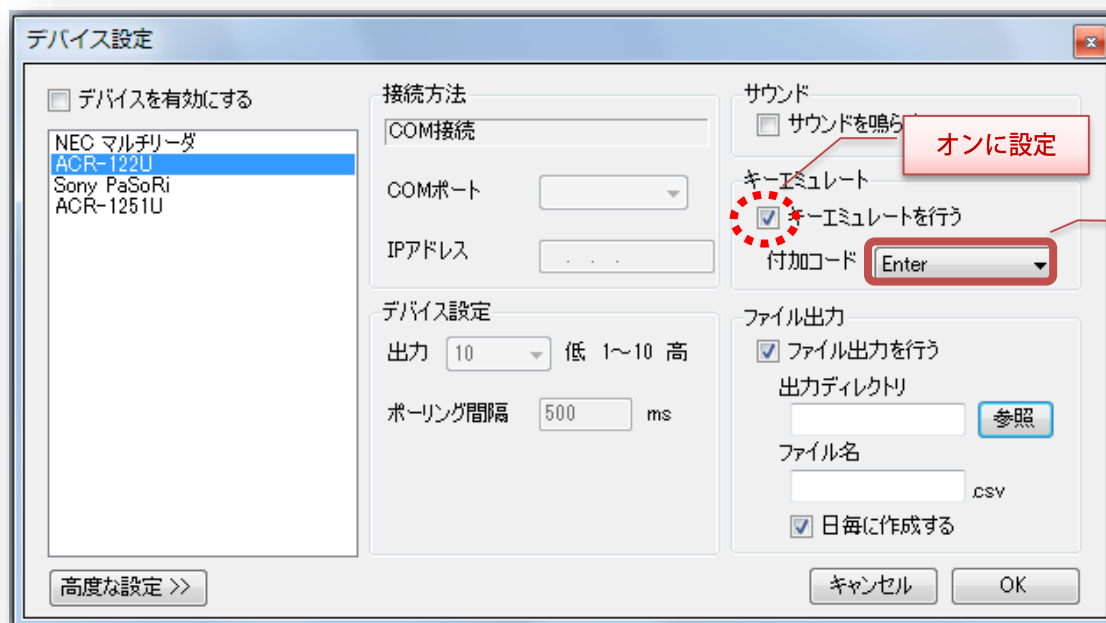
※音を鳴らすには、パソコンにスピーカやヘッドフォンが搭載または接続されている必要があります。また、この設定は、リーダー側のサウンドをコントロールするものではありません。



## 4.2 キーエミュレート

### 4.2.1 キーエミュレートの設定

「デバイス設定」ウィンドウにてキーエミュレートをオンにすると、リーダーで読み取ったICタグのIDが、使用中のアプリケーション上にテキストデータとして入力されます。デバイス設定と接続については、それぞれ前述のP.7「各設定項目について」、P.13「開始（デバイス接続）」を参照してください。

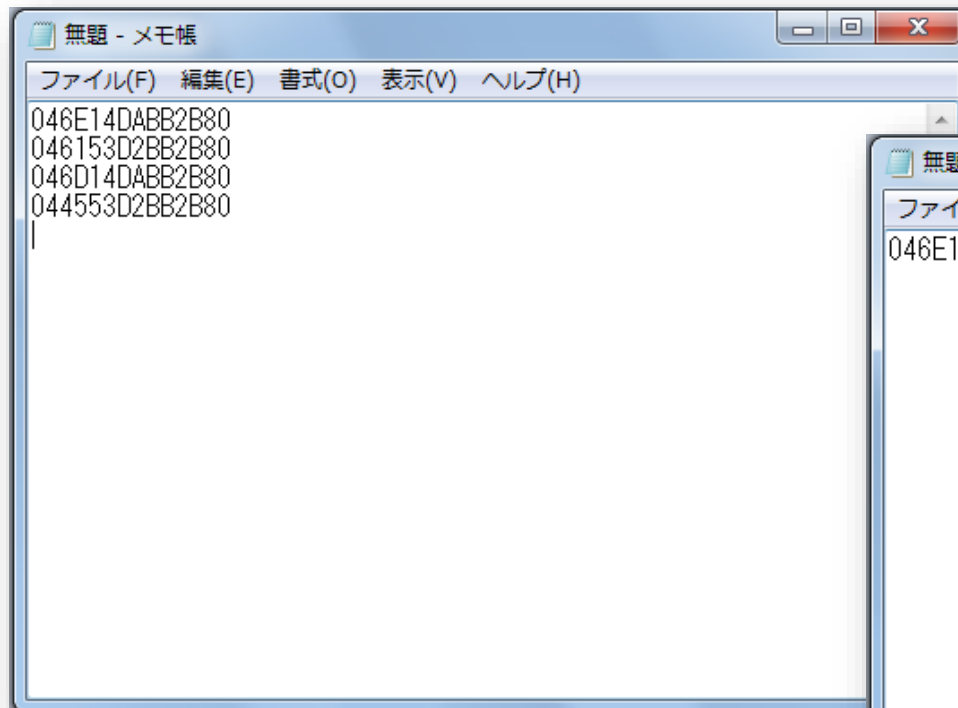


必要に応じて付加コードを設定します。▼をクリックし、リストより選択します

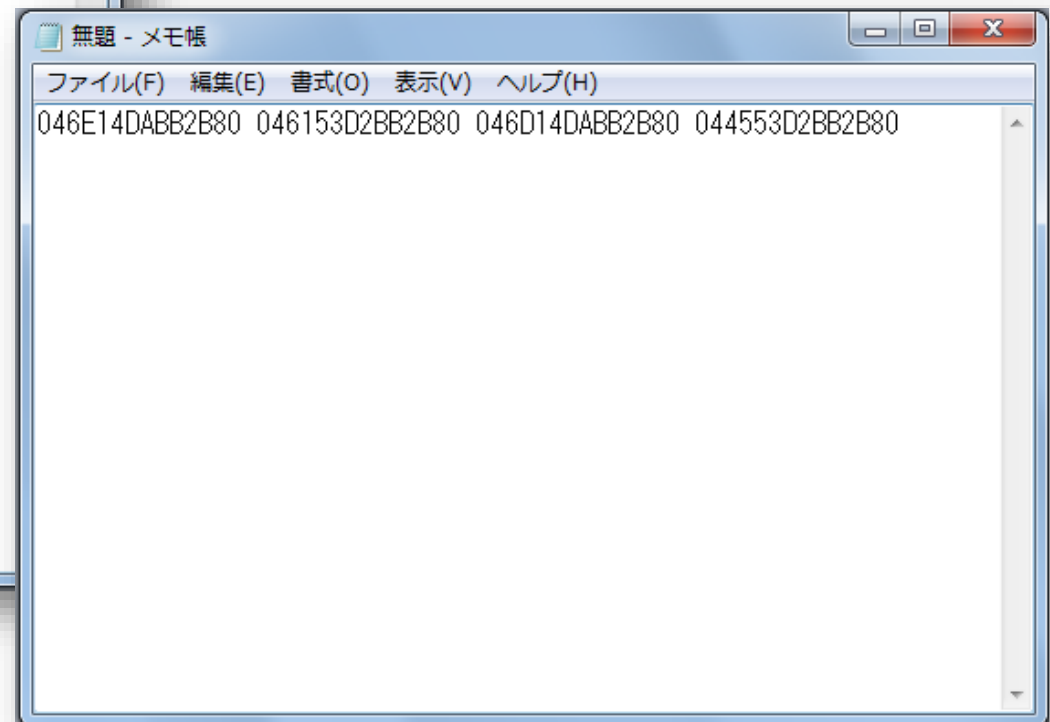
※ 付加コードは読み取ったIDの末尾に追加されます。  
使用するアプリケーションや、用途に合わせ選択してください。(次ページの例を参照)

## 4.2.2 IC タグの読み取り

リーダーをパソコンに接続し、接続を開始します。(P.13 参照) リーダーにて IC タグの読み取りを行うと、読み取った IC タグの ID が、使用中のアプリケーションに入力されます。下記はメモ帳を使用した例です。Excel を使用した例は次ページにあります。

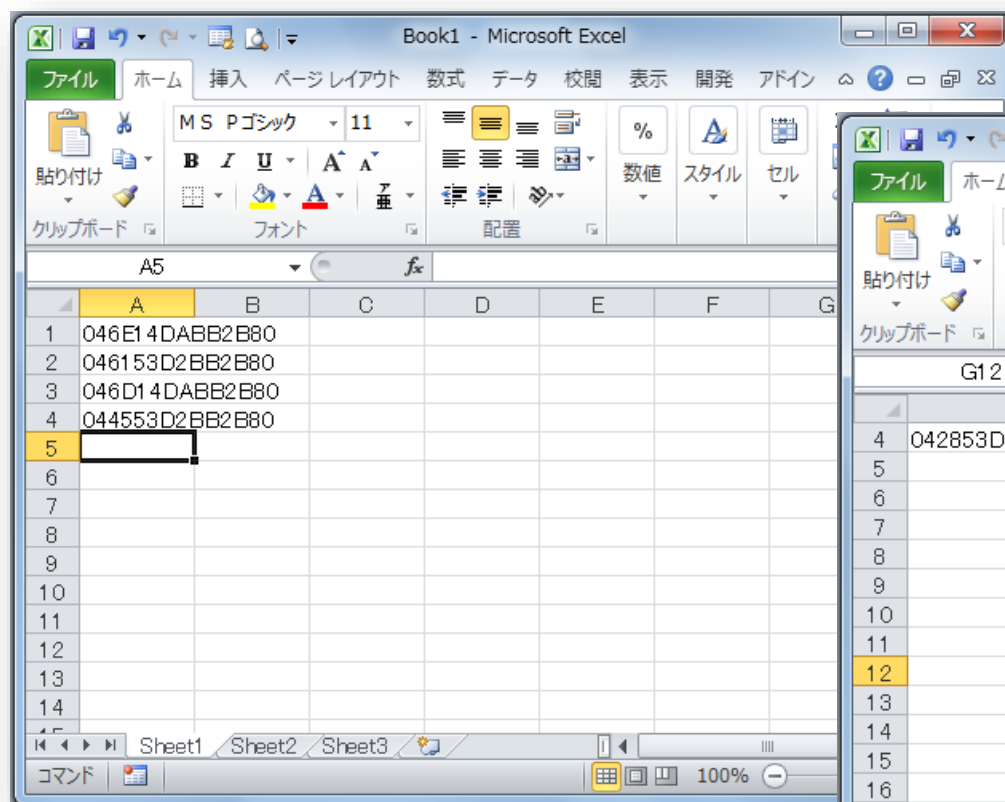


(付加コードに「Enter」を設定した場合)

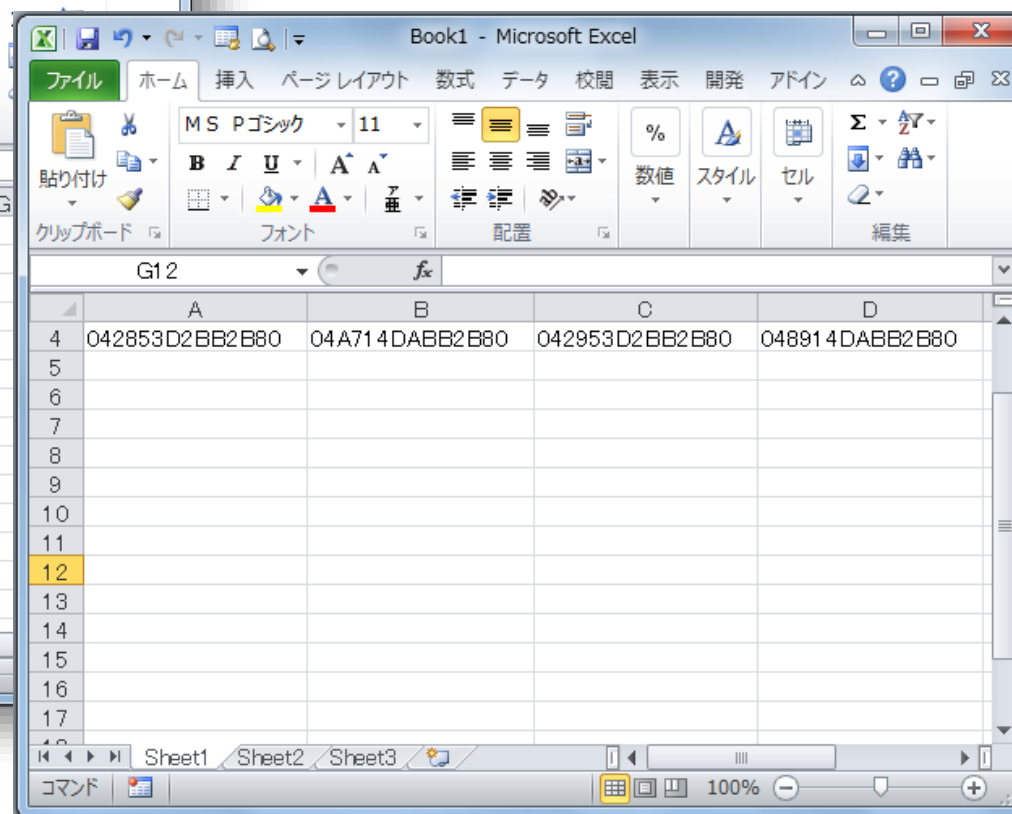


(付加コードに「Space」を設定した場合)

下記は Excel を使用してキーエミュレートをした例です。下記以外の付加コードを設定した場合の動作については、Excel のヘルプ等を参照してください。



(付加コードに「↓」を設定した場合)



(付加コードに「→」を設定した場合)

## 4.3 ファイル出力

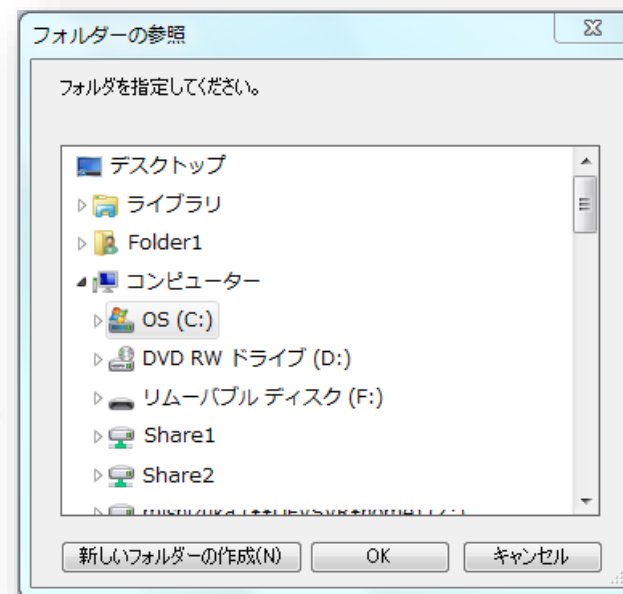
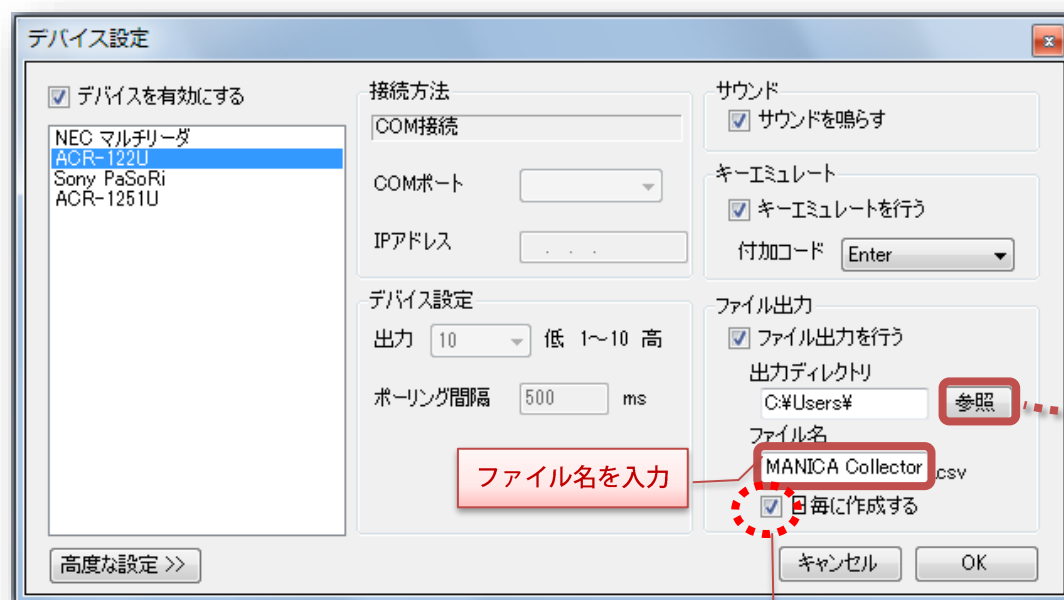
### 4.3.1 ファイル出力の設定

「デバイス設定」ウィンドウにてファイル出力をオンにすると、リーダーで読み取った情報が CSV 形式のファイルで保存されます。

「参照」をクリックしてファイルの保存先を指定し、「ファイル名」ボックスに保存する CSV ファイルの名前を入力してください。

保存されたファイルは Excel 等のアプリケーションで開き、編集することが可能です。

デバイス設定と接続については、それぞれ前述の P.7「各設定項目について」、P.13「開始（デバイス接続）」を参照してください。



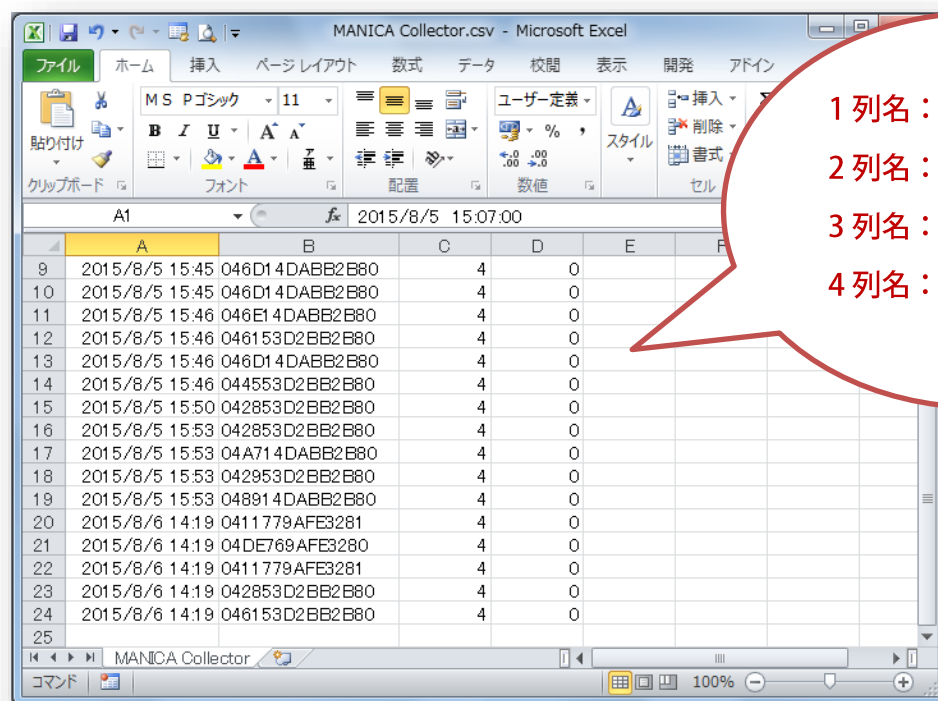
「毎日に作成する」がオンの場合・オフの場合の違いは次ページ以降を参照して下さい

### 4.3.2 IC タグの読み取り

リーダーをパソコンに接続し、接続を開始します。(P.13 参照) リーダーにて IC タグの読み取りを行うと、読み取った IC タグの ID や、読み取り日時、リーダ番号等が CSV ファイルに書き込まれ、「デバイス設定」ウィンドウにて指定したフォルダに保存されます。下記は保存された CSV ファイルを Excel で開いた例です。

#### 「日毎に作成する」がオフの場合

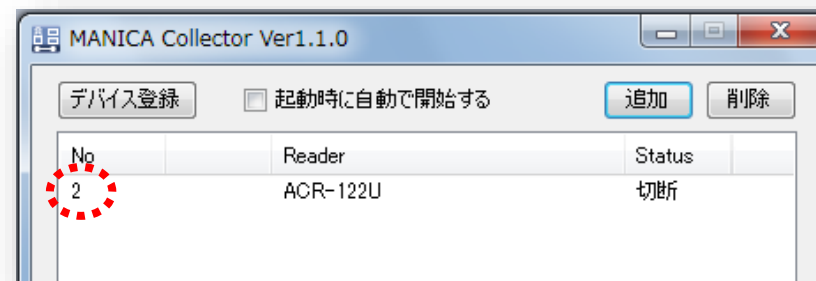
「デバイス設定」ウィンドウにて「日毎に設定する」をオフに設定しファイル出力すると、指定したフォルダに指定したファイル名の CSV ファイルが 1 つ作成されます。データはそのファイルに追加されていきます。



	A	B	C	D	E	F
9	2015/8/5 15:45	046D14DABB2B80	4	0		
10	2015/8/5 15:45	046D14DABB2B80	4	0		
11	2015/8/5 15:46	046E14DABB2B80	4	0		
12	2015/8/5 15:46	046153D2BB2B80	4	0		
13	2015/8/5 15:46	046D14DABB2B80	4	0		
14	2015/8/5 15:46	044553D2BB2B80	4	0		
15	2015/8/5 15:50	042853D2BB2B80	4	0		
16	2015/8/5 15:53	042853D2BB2B80	4	0		
17	2015/8/5 15:53	04A714DABB2B80	4	0		
18	2015/8/5 15:53	042953D2BB2B80	4	0		
19	2015/8/5 15:53	048914DABB2B80	4	0		
20	2015/8/6 14:19	0411779AFE3281	4	0		
21	2015/8/6 14:19	04DE769AFE3280	4	0		
22	2015/8/6 14:19	0411779AFE3281	4	0		
23	2015/8/6 14:19	042853D2BB2B80	4	0		
24	2015/8/6 14:19	046153D2BB2B80	4	0		
25						

- 1 列名：IC タグ読取日時
- 2 列名：タグ ID
- 3 列名：リーダ番号 (※)
- 4 列名：アンテナ番号

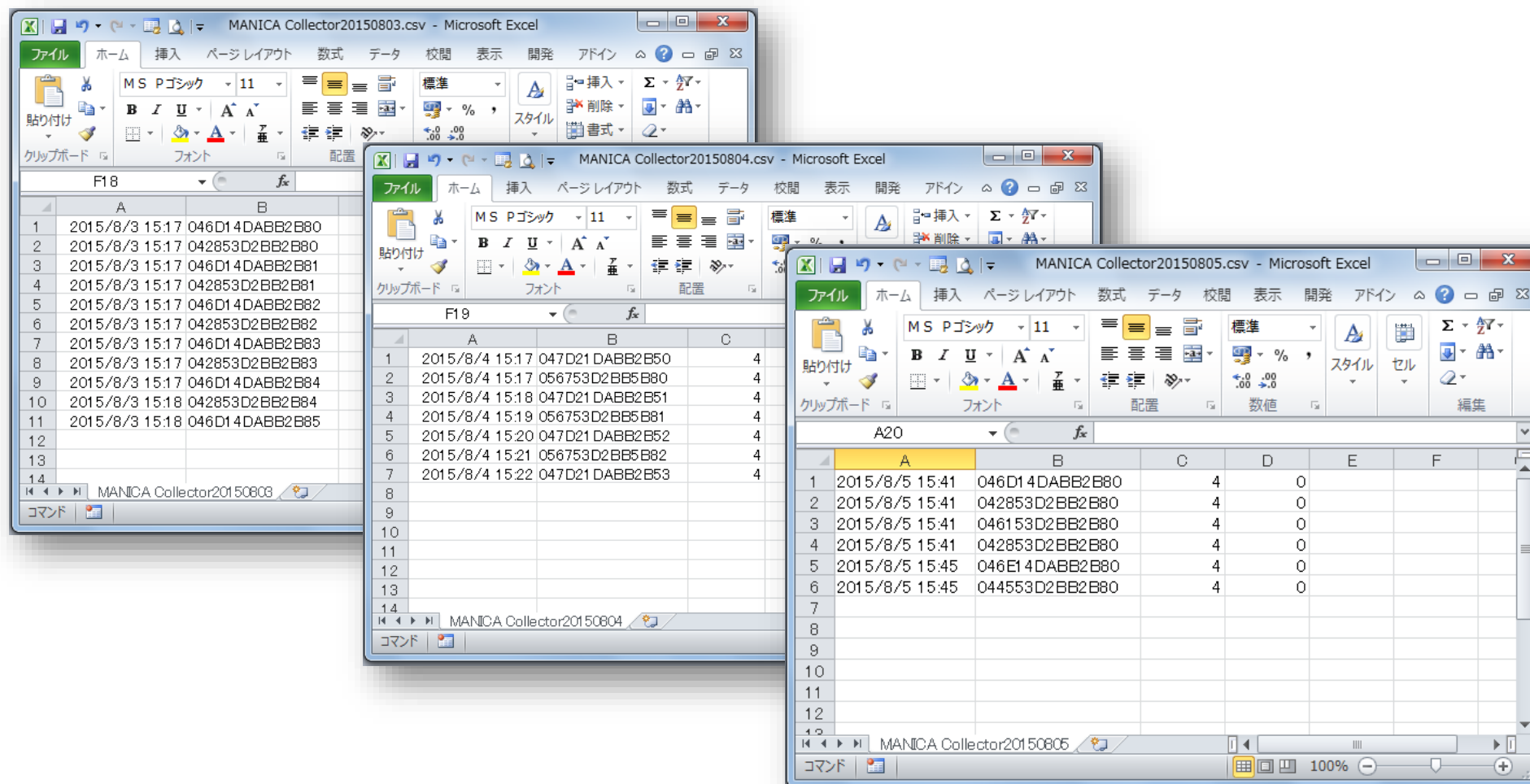
※ リーダ番号とは  
MANICA Collector ウィンドウに  
表示されている No です。



No	Reader	Status
2	ACR-122U	切断

「日毎に作成する」がオンの場合

「デバイス設定」ウィンドウにて「日毎に設定する」をオンに設定しファイル出力すると、指定したフォルダに、日毎に1ファイル追加されていきます。ファイル名は指定した名前の末尾に yyyymmdd 形式の日付が追加されたものになります。



## 4.4 高度な設定

高度な設定ボタンを押すと、SQL 発行、プロセス起動、Web フックの設定画面が表示されます。

<input type="checkbox"/> SQLを発行する	接続設定	埋め込み項目 [タグID] [アンテナNO] [YYYYMMDD] [HHMM] [HHMMSS]
接続文字列 <input type="text"/>		
SQL <input type="text"/>		
<input type="checkbox"/> プロセスを起動する		
ドメイン <input type="text"/>	ユーザー <input type="text"/>	パスワード <input type="text"/>
起動プロセス <input type="text"/>		
<input type="checkbox"/> Webサーバへ投げる		
Http:// <input type="text"/>		

### 4.4.1 SQL 発行

タグを読取ると自動でデータベースに SQL を発行します。設定するには接続設定ボタンを押して接続先のデータベースを選択し、SQL の欄に発行する SQL 文を記述します。SQL 文には、右側にある「埋め込み項目」を使ってタグ ID などを SQL 文に埋め込むことが可能です。

### 4.4.2 プロセス起動

タグを読取ると自動で別のプロセスを起動できます。設定するには特定のアカウントで実行する必要がある場合はドメイン、ユーザ、パスワードを設定し、起動プロセスにパスを含めた実行ファイルを指定します。空白の後に引数を指定することも可能です。引数に埋め込み項目を利用することで、例えばタグ ID を引数としてプロセスを実行することが可能です。

### 4.4.3 Web フック

タグを読取ると自動で Web サーバのリクエストを投げるすることができます。設定するにはプロトコル(HTTP/HTTPS)」を選択し、リクエストするアドレスを指定します。リクエストには埋め込み項目を使用できますので、例えばパラメータ部分にタグ ID を埋め込むことが可能です。本機能のリクエストは GET で行います。POST での送信には対応していません。

例：[https://www.test.com/search?tagid=\[タグID\]](https://www.test.com/search?tagid=[タグID])

## 5 テストモードを利用した動作テスト

テストモードを利用して、リーダ・ライタの実機が無くても動作確認が可能です。デバイスの追加で「読み取りテスト」というデバイスがありますのでそれを追加し、キーエミュレートや高度な設定などは適宜設定します。設定画面の右下の「テスト」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。



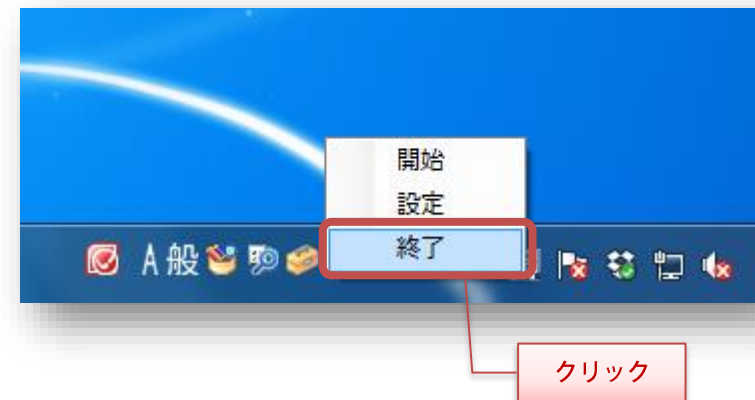
マウスポインタをこの画面上で動かすことで、仮想的にタグを読み取り、設定した動作を確認することができます。

## 6 MANICA コレクタ終了

「MANICA コレクタ」アイコンを右クリックし、ショートカットメニューより「終了」を選択すると MANICA コレクタが終了し、タスクトレイよりアイコンが削除されます。再度起動する場合にはデスクトップアイコンをダブルクリックしてください。(P.3 参照)



または



## 7 アンインストール手順

マニカコレクタをアンインストールする場合は、

- ①Windows コントロールパネルの「プログラムと機能」から「MANICA Collector」をアンインストールしてください。
- ②Windows のエクスプローラーを使用して下記のフォルダを削除してください。

C:¥ProgramData¥Hayato Information¥MANICA COLLECTOR